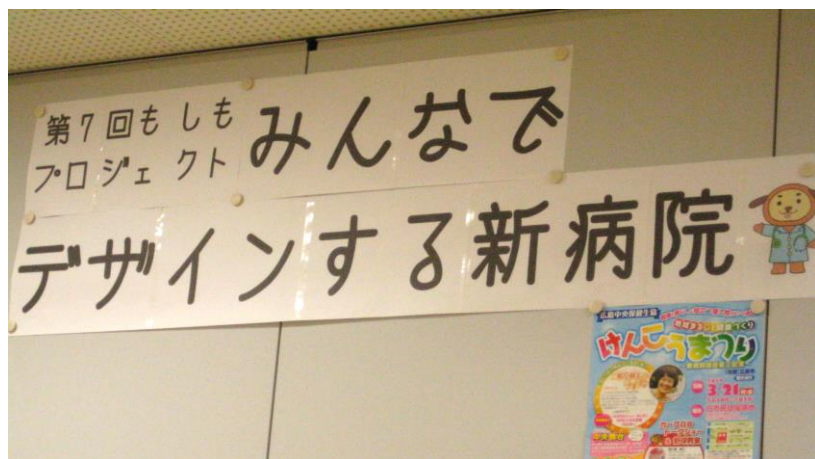




もしもプロジェクトを通じてみんなの病院をつくろう！

第7回もしもプロジェクトが、2月1日に生協けんこうプラザで開催されました。昨年12月に新病院建設予定地の解体工事が始まって以降、初めてのももしもプロジェクトです。

開会の挨拶に続いて、福島生協病院の田中敬子事務長より「新病院建設の状況報告と今後の建設スケジュール」について、新病院建設運動推進委員会の田中さき子委員長より「新病院建設運動の到達と今後の取り組み」についての報告がありました。あらためて新病院建設が多くの人々の力に支えられて実現に近づいているということが実感することが出来ました。



さて、今回のテーマは「みんなでデザインする新病院」。具体的には、ロビーや待合、病室、霊安室の壁と床の色やその組み合わせについて話し合いました。壁と床の色は建物のイメージを決定する重要な要素の一つです。

「汚れが目立たない色が良い」「明るい色が良い」という意見は多くのグループで共通して出ました。やはり病院は明るい雰囲気と清潔感が第一ですね。少数意見では、「霊安室の窓はステンドグラスで」というものも。ステンドグラスは、予算やデザインの関係で実現は難しいかもしれませんが…いろいろな意見が出るというのは、新病院に対する期待の大きさの表れです。



今回みなさんからいただいたご意見は、新病院建設委員会が持ち帰り、実際に内装を決定する際の参考とさせていただきます。当日ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。今回は参加できなかったという方もまだチャンスはありますので、次回はぜひご参加ください。もしもプロジェクトを通して、「みんなでつくる新病院」の実現に一歩一歩着実に近づいています。組合員・職員全員が大きな夢を持って、新病院を自分たちの手で作り上げていきましょう！

協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合